

2019年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月31日

上場会社名 日本フェンオール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6870 URL <http://www.fenwal.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 仁志
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 田原 康治 TEL 03-3237-3561
 四半期報告書提出予定日 2019年8月1日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有 決算説明会資料
 四半期決算説明会開催の有無：有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績（2019年1月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	5,073	△19.3	278	△59.3	331	△53.8	298	△39.5
2018年12月期第2四半期	6,288	△12.8	685	△6.5	717	△8.8	492	△12.2

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 274百万円 (△34.9%) 2018年12月期第2四半期 421百万円 (△34.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	50.61	—
2018年12月期第2四半期	83.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	16,222	11,753	72.4	1,994.55
2018年12月期	16,615	11,820	71.1	2,005.99

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 11,753百万円 2018年12月期 11,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	58.00	58.00
2019年12月期	—	0.00	—	—	—
2019年12月期（予想）	—	—	—	58.00	58.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年12月期の連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,805	△13.9	550	△61.4	628	△58.1	505	△56.8	85.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 2 Q	5,893,000株	2018年12月期	5,893,000株
② 期末自己株式数	2019年12月期 2 Q	399株	2018年12月期	332株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 2 Q	5,892,641株	2018年12月期 2 Q	5,892,668株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦を背景とした中国景気の減速基調が継続しているものの、国内需要は公共投資が増加傾向で推移しており、また働き方改革への対応を背景とした設備投資等により堅調に推移いたしました。しかしながら、今後の国内景気は、海外経済の減速の影響を受け輸出が減少基調となるほか、消費税率引き上げによる個人消費の冷え込みなど景気後退局面も予想される展開となっておりました。

このような事業環境の下、当社グループにつきましては、電力等の基幹産業向け防災設備案件の一部が動き出したこと等によりSSP部門の受注高は好調に推移したものの、海外子会社の事業環境が厳しさを増しており、更に半導体市況の低迷、メディカル部門で本期より投入した新製品の市場投入の遅れなどにより非常に厳しい環境で推移いたしました。

以上の結果、受注高は6,096百万円(前年同四半期比0.1%減)、売上高は5,073百万円(前年同四半期比19.3%減)となりました。

利益面におきましては、売上高の減少により営業利益は278百万円(前年同四半期比59.3%減)、経常利益は331百万円(前年同四半期比53.8%減)となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は政策保有株式の一部を売却したことによる特別利益の発生等により、298百万円(前年同四半期比39.5%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

SSP(Safety Security Protection)部門

特定客先の工場設備向け特殊消火設備及び前連結会計年度より継続中である電力等の基幹産業向け防災設備については、受注が増加傾向となっております。また、産業用設備機器におきましては、防爆型煙感知器の認知度向上とともに販売数を伸ばしております。一方、前連結会計年度末から続いております半導体市場の低迷を受け、産業用検知器シリーズの売上が減速しており、さらに、同様に継続している業界全体の人手不足による案件の遅延や計画の見直しなども発生しており厳しい市場環境が継続しております。

以上の結果、受注高は2,931百万円(前年同四半期比29.8%増)、売上高は2,081百万円(前年同四半期比15.7%減)となりました。

サーマル部門

主要取引先の多くが属する半導体業界は、主力製品である熱板については、メモリ需給の軟化による半導体製造装置の生産調整局面にあり大幅に減少いたしました。また、センサーにつきましても、設備投資判断の先延ばしにより半導体市場の回復には至らず計画を下回りました。

以上の結果、受注高は525百万円(前年同四半期比24.4%減)、売上高は512百万円(前年同四半期比21.6%減)となりました。

メディカル部門

主力製品である海外向け人工腎臓透析装置においては、新製品の出荷状況で、一部出荷国の認証取得遅延が4月によりやく解消され5月に出荷が増加いたしました。しかしながら、その後発生した一部の部品入手難等の影響により6月の出荷が減少し、第2四半期連結累計期間の売上高が大幅に減少いたしました。

以上の結果、受注高は764百万円(前年同四半期比7.5%減)、売上高は613百万円(前年同四半期比25.9%減)となりました。

PWBA部門(Printed Wiring Board Assembly)部門

引き続き主要顧客である事務機器業界の需要低迷により、特に海外子会社において売上高が伸び悩んでいる状況が継続しております。一方、国内、海外ともに医療機器向け製品については安定した需要が継続しております。

以上の結果、受注高は1,874百万円(前年同四半期比19.3%減)、売上高は1,865百万円(前年同四半期比20.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、16,222百万円となり、前連結会計年度末16,615百万円に比べ392百万円(2.4%)減少しております。主な減少要因は売上減少等による「完成工事未収入金」608百万円(43.7%)、「受取手形及び売掛金」102百万円(5.8%)、「電子記録債権」94百万円(8.1%)であります。

一方、主な増加要因は売上債権回収等による「現金及び預金」278百万円(5.3%)、短期債券の購入による「有価証券」200百万円(66.7%)であります。

負債合計は、4,469百万円となり、前連結会計年度末4,794百万円に比べ325百万円(6.8%)減少しております。主な減少要因は海外子会社仕入額減少を主要因とする「支払手形及び買掛金」233百万円(12.2%)、法人税等の支払いによる「未払法人税等」130百万円(50.8%)、前連結会計年度末に集中した工事代決済に伴う「工事未払金」63百万円(14.4%)、「役員退職慰労引当金」56百万円(73.0%)によるものであり、主な増加要因は「短期借入金」199百万円(85.3%)であります。

純資産合計は、11,753百万円となり、前連結会計年度末11,820百万円に比べ67百万円(0.6%)減少しております。主な減少要因は「為替換算調整勘定」72百万円(36.6%)であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は前連結会計年度末に比べ25百万円減少し、4,595百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)

営業活動によって得られた資金は692百万円(前年同四半期比491百万円増)となりました。これは主に売上債権の減少額785百万円、仕入債務の減少額283百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)

投資活動によって使用した資金は530百万円(前年同四半期比410百万円増)となりました。これは主に定期預金の預入による支出991百万円、有価証券及び投資有価証券の取得による支出200百万円、定期預金の払戻による収入660百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)

財務活動によって使用した資金は159百万円(前年同四半期比13百万円増)となりました。これは主に配当金の支払額340百万円、短期借入金の純増加額200百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の連結業績予想につきましては、2019年2月13日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2019年7月31日)公表いたしました「2019年12月期第2四半期累計期間の業績予想値との差異及び2019年12月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,286,827	5,565,166
受取手形及び売掛金	1,753,948	1,651,365
電子記録債権	1,165,254	1,070,779
完成工事未収入金	1,394,196	785,320
有価証券	300,000	500,000
製品	238,726	279,174
仕掛品	203,561	215,208
原材料	1,576,596	1,404,235
未成工事支出金	477,418	650,259
その他	66,076	55,860
貸倒引当金	△3,899	△132,780
流動資産合計	12,458,708	12,044,589
固定資産		
有形固定資産	1,156,163	1,180,609
無形固定資産	172,576	148,692
投資その他の資産		
投資有価証券	2,676,846	2,702,816
その他	173,351	168,139
貸倒引当金	△22,135	△22,135
投資その他の資産合計	2,828,062	2,848,820
固定資産合計	4,156,802	4,178,122
資産合計	16,615,511	16,222,711
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,910,448	1,677,001
工事未払金	440,555	377,133
短期借入金	233,300	432,337
1年内償還予定の社債	36,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	300,000
未払法人税等	257,292	126,520
賞与引当金	—	5,700
役員賞与引当金	—	10,000
その他	501,025	501,579
流動負債合計	3,578,621	3,450,272
固定負債		
社債	300,000	300,000
長期借入金	150,000	50,000
役員退職慰労引当金	77,592	20,970
退職給付に係る負債	389,921	365,177
資産除去債務	23,852	23,852
その他	274,864	259,380
固定負債合計	1,216,231	1,019,381
負債合計	4,794,852	4,469,653

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	8,455,018	8,411,497
自己株式	△289	△394
株主資本合計	10,911,846	10,868,220
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	809,043	839,896
為替換算調整勘定	198,899	126,142
退職給付に係る調整累計額	△99,131	△81,201
その他の包括利益累計額合計	908,811	884,837
純資産合計	11,820,658	11,753,057
負債純資産合計	16,615,511	16,222,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	6,288,202	5,073,178
売上原価	4,667,763	3,761,008
売上総利益	1,620,439	1,312,170
販売費及び一般管理費	934,754	1,033,407
営業利益	685,684	278,762
営業外収益		
受取利息	8,220	8,534
受取配当金	30,268	27,408
為替差益	—	6,976
その他	2,276	14,044
営業外収益合計	40,765	56,964
営業外費用		
支払利息	4,484	3,615
為替差損	4,266	—
その他	691	670
営業外費用合計	9,442	4,285
経常利益	717,007	331,441
特別利益		
投資有価証券売却益	—	42,854
特別利益合計	—	42,854
税金等調整前四半期純利益	717,007	374,295
法人税、住民税及び事業税	207,702	111,772
法人税等調整額	16,500	△35,730
法人税等合計	224,202	76,041
四半期純利益	492,804	298,253
親会社株主に帰属する四半期純利益	492,804	298,253

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	492,804	298,253
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,055	30,852
為替換算調整勘定	△55,776	△72,757
退職給付に係る調整額	5,094	17,930
その他の包括利益合計	△71,737	△23,974
四半期包括利益	421,067	274,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	421,067	274,279

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	717,007	374,295
減価償却費	93,262	92,484
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	83	128,880
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,900	5,700
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,600	10,000
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△23,170	1,099
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,350	△56,621
受取利息及び受取配当金	△38,489	△35,942
支払利息	4,484	3,615
為替差損益 (△は益)	943	73
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△42,854
売上債権の増減額 (△は増加)	297,545	785,527
たな卸資産の増減額 (△は増加)	182,135	△64,215
仕入債務の増減額 (△は減少)	△775,791	△283,438
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	△76,838	43,011
その他	△5,535	△71,431
小計	395,487	890,183
利息及び配当金の受取額	38,957	42,113
利息の支払額	△4,614	△3,765
法人税等の支払額	△228,221	△235,630
営業活動によるキャッシュ・フロー	201,608	692,902
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△436,560	△991,080
定期預金の払戻による収入	—	660,720
長期預金の払戻による収入	500,000	—
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△592	△200,986
有価証券及び投資有価証券の売却による収入	—	59,789
有形固定資産の取得による支出	△103,325	△69,606
その他	△79,826	10,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△120,304	△530,709
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,000	200,000
社債の償還による支出	△16,000	△16,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,811	△2,461
自己株式の取得による支出	—	△104
配当金の支払額	△323,291	△340,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	△146,102	△159,157
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,387	△28,807
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△111,185	△25,771
現金及び現金同等物の期首残高	5,714,157	4,620,827
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,602,971	4,595,056

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,470,072	654,278	828,061	2,335,789	6,288,202	—	6,288,202
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,470,072	654,278	828,061	2,335,789	6,288,202	—	6,288,202
セグメント利益 又は損失(△)	585,173	143,723	43,262	148,292	920,451	△234,767	685,684

(注) 1 セグメント利益の調整額△234,767千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,081,373	512,778	613,210	1,865,815	5,073,178	—	5,073,178
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,081,373	512,778	613,210	1,865,815	5,073,178	—	5,073,178
セグメント利益 又は損失(△)	468,856	65,918	15,267	△16,901	533,140	△254,378	278,762

(注) 1 セグメント利益の調整額△254,378千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。